

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 221-0821
 住 所 神奈川県横浜市神奈川区富家町1-1
 氏 名 イオンリテール株式会社 代表取締役社長 村井正平 印
 (代理人) 南関東カンパニー総務部長 笹川恭広
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	イオンリテール株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区上麻生1-19		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	総合小売業、食品・住生活・衣料服飾商品等の販売及びサービスの提供		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,394	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	南関東カンパニー 総務部
		所在地	神奈川県横浜市神奈川区富家町1-1
		電話番号	045-438-3001
		FAX番号	045-438-3331
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しております。 http://www.aeon.info/environment/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,073 t-CO ₂ (調) 4,633	(実) 8,785 t-CO ₂ (調) 7,612	(実) 7,294 t-CO ₂ (調) 6,265	(実) 4,216 t-CO ₂ (調) 3,767	(実) 4,922 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -73.2 % (調) -64.3	(実) -43.8 % (調) -35.2	(実) 16.9 % (調) 18.7	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出原単位等の値	0.07481	0.1186	0.09845	0.06217	0.07258
削減率		-58.5 %	-31.6 %	16.9 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	イオン新百合ヶ丘店は、基準年度5,073t-CO ₂ に対し空調による887t-CO ₂ の増加。今年度より「まいばすけっと39店舗」の追加により大幅な増加。
第2年度	イオン新百合ヶ丘店は、基準年度に対し744t-CO ₂ の減少（ELVの一台停止、照明間引きや点灯時間短縮及び空調設定温度28℃の省エネ実施）しているが、まいばすけっとが昨年より8店舗増で47店舗増となり、排出量2,965t-CO ₂ の為、総排出量としては基準年度に対して2,221t-CO ₂ 増加となった。原単としても、イオン新百合ヶ丘は基準年度比14.7%の削減率だが、まいばすけっとが一店舗平均の原単位が0.371であるため、47店舗分を合わせた全体では基準年度比31.6%の増加となっている。平成24年1月21日付にて、「まいばすけっと事業」は「まいばすけっと株式会社」として分社化。
第3年度	温室効果ガスの目標排出量4,922t-CO ₂ に対し、第3年度実績は4,216t-CO ₂ と目標に対して706t-CO ₂ 少ない。省エネ運用による削減の他、熱源機器を超高効率のものに更新や3～4階の売場部分の照明をLEDに変更するなどの省エネ工事を実施したことにより達成できた。原単位としては、目標原単位0.07258t-CO ₂ /m ² に対し0.06217t-CO ₂ /m ² で目標達成となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>イオンは、2008年に「2012年度のCO₂排出量を2006年度比で185万トン削減する」という目標を「イオン温暖化防止宣言」として発表、削減に取り組んだ結果、2011年度CO₂排出削減総量が208万トンとなり、1年前倒しで目標を達成することができました。</p> <p>2012年、新たに「イオンのエコプロジェクト」として「2020年までにエネルギー使用量を50%削減する」という目標を掲げエネルギー使用量削減を通じた温暖化防止に取り組んでいます。</p>
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ■イオン新百合ヶ丘店における取り組み ○店舗等の空気調和の管理 ○BEMSの導入 ○照明設備の運用管理 ■マイバスケットにおける取り組み ①冷蔵ケース照明11:00~16:00の間OFF ②店舗軒下照明OFFなど
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■イオン新百合ヶ丘店における取組 ○BEMSを2010年7月に導入。 ○店内温度を推奨温度である冷房28℃、暖房20℃を厳守。 ○不要照明の消灯の実施。 ○調光による減光・消灯を徹底。 ■マイバスケットにおける取組 ①冷蔵ケース照明11:00~16:00の間OFFの実施 ②店舗軒下照明OFFの実施
	第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■イオン新百合ヶ丘店における取組 ①エレベーターの運転制限 ②照明設備 (間引き、点灯時間短縮) ③空調設備 (個別空調設定温度 28℃) ■マイバスケットにおける取組 ※マイバスケットは分社化に伴い、報告は1月データまで反映 ①冷蔵ケース照明11:00~16:00の間OFFの実施 ②店舗軒下照明OFFの実施
	第 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ■イオン新百合ヶ丘店における取組 計画期間に計画されていた対策については実施済み。 第3年度においては以下の2項目対策を追加対応した。 ①照明設備 (3~5階 共用部分の照明をLED化) ②空調設備 (吸収式冷温水機を高効率のものに更新) ■マイバスケットは2011年1月に分社化され、報告書には含んでおりません。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化、分別の推進を図る。 2. お買物袋ご持参運動の推進を図る。 3. 環境に優しい商品（トップバリュ共環宣言）の積極的販売を行う。 4. 店頭回収活動の実施。「牛乳パック」「食品トレイ」「ペットボトル」「アルミ缶」 5. 照明やOA機器のスイッチオフの推進を図る。 6. 商品物流は地域性を考慮し、グループ各社と共同物流に変え、配送時のCO2削減を図る。 7. クールビズ・ウォームビズの実施。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物袋持参運動の推進。 ○クールビズ・ウォームビズの実施。 ○店頭リサイクル活動の実施。 ○照明やOA機器の未使用時のスイッチオフ。 ○廃棄物の分別。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物袋持参運動の推進。 ○クールビズ・ウォームビズの実施。 ○店頭リサイクル活動の実施。 ○照明やOA機器の未使用時のスイッチオフ。 ○廃棄物の分別。
第3年度	<p>計画されていたものは計画期間中に実施してきました。 中でも2012年のレジ袋の辞退率は60%（全社）を越えております。 今後も継続して対策に取り組んでまいります。</p>

前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,456	t-CO ₂
(調)	4,450	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
イオン新百合ヶ丘店	川崎市麻生区1-19	5 6 1 1	商業施設	4,456 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	

3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--